



従来型ネットワークへの Wide Area Bonjour の導入

- [従来型のネットワーク上の Wide Area Bonjour について](#) (1 ページ)
- [従来型の LAN およびワイヤレスローカルモード](#) (1 ページ)
- [従来型の LAN およびワイヤレス FlexConnect ローカル スイッチングモード](#) (5 ページ)
- [従来型の LAN および組み込みワイヤレスコントローラ \(Catalyst スイッチ\)](#) (9 ページ)
- [従来型の LAN および組み込みワイヤレスコントローラ \(Catalyst アクセスポイント\)](#) (13 ページ)
- [従来型のルーテッドアクセス LAN およびワイヤレスローカルモード](#) (17 ページ)
- [従来型のルーテッドアクセス LAN](#) (22 ページ)

従来型のネットワーク上の Wide Area Bonjour について

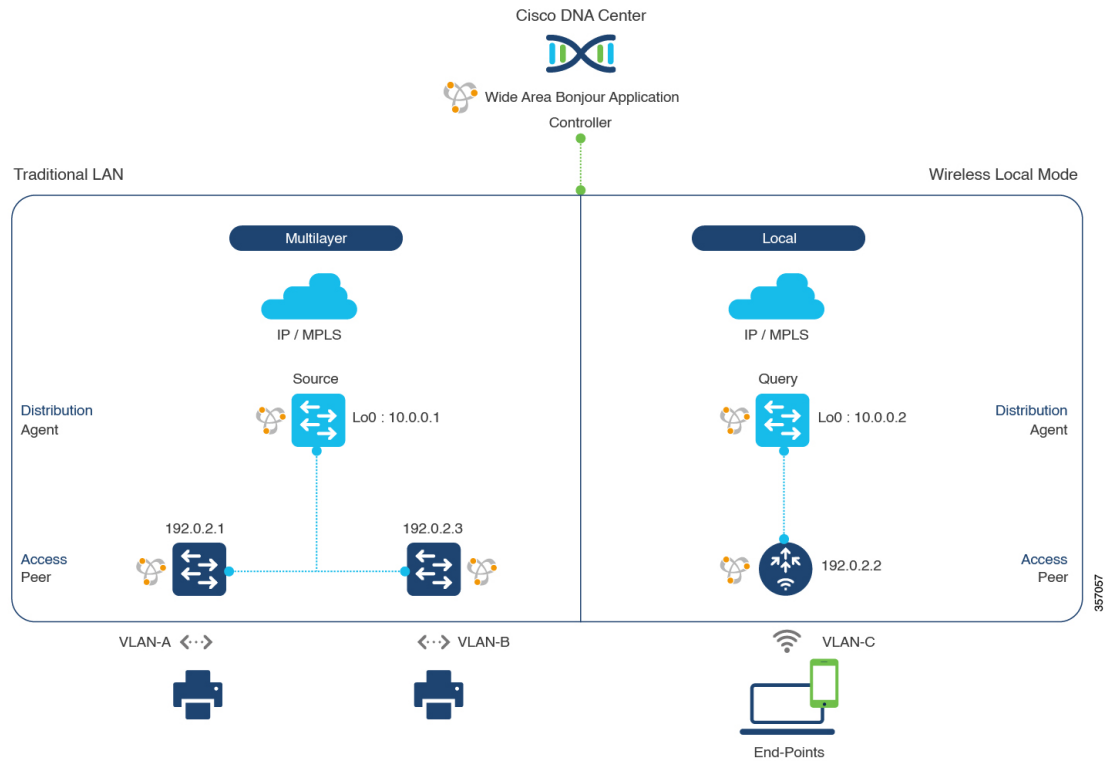
Bonjour 向け Cisco DNA サービスは、さまざまなタイプの従来型の有線およびワイヤレス LAN ネットワーク導入モデルをサポートしています。この章では、Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションにグローバル サービス フィルタ ポリシーを導入し、サポート対象のさまざまな導入モデル間でネットワークレベルのサービスルーティング機能を利用するための設定手順を紹介します。

従来型の LAN およびワイヤレスローカルモード

この項では、従来の LAN ネットワークで Wide Area Bonjour を有効にする設定ポリシーを作成し、ローカルモードのシスコ ワイヤレス アクセス ポイントを使用してワイヤレスネットワーク経由で接続したワイヤレスユーザーに対して、Bonjour サービス (有線プリンタなど) を提供する際のガイドラインを示します。

次の図は、従来型の LAN とワイヤレス ローカル モード ネットワークのトポロジ例を示しています。IP ネットワーク全体に Bonjour の送信エージェントと受信エージェントがあります。

図 1: 従来型の LAN およびワイヤレス ローカル モード ネットワークのサービスルーティング



(注) Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラ で FlexConnect 中央スイッチングモードのアクセスポイントが使用される場合、この項に記載されている設定手順に従います。

Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラ の設定時の注意事項については、『[Cisco Catalyst 9800 Series Wireless Controller Software Configuration Guide](#)、[Cisco IOS XE Amsterdam 17.3.x](#)』を参照してください。

従来型の LAN およびワイヤレスローカルモードのサービスフィルタの設定

この項では、グローバルサービスフィルタを導入するための一般的な手順を紹介します。このフィルタにより、Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションは IP ネットワーク全体の信頼できる Cisco Catalyst SDG エージェントスイッチ間でサービス情報を動的に検出して配信できます。

- ステップ 1** Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションの [Configuration] タブに移動します。
ステップ 2 サイドバーから、サービスフィルタを作成するサブドメインを選択します。

- ステップ 3** [Service Filter] ボックスがオンになっていることを確認します。
- ステップ 4** トポロジからサービスフィルタアイコンをクリックして、選択したドメインのサービスフィルタのリストを表示します。
- このリストから既存のサービスフィルタを手動で編集することもできます。
- ステップ 5** [Create Service Filter] をクリックします。
- ステップ 6** [Network Mode] ドロップダウンリストから、[Traditional] (デフォルトモード) を選択します。
- ステップ 7** サービスフィルタの一意の名前を入力します。
- ステップ 8** (オプション) サービスフィルタの説明を入力します。
- ステップ 9** アナウンスとクエリを許可する 1 つ以上のサービスタイプを選択します。
- ステップ 10** サービスフィルタを作成後、有効または無効にします。デフォルトでは有効になります。

従来型の LAN およびワイヤレスモードの送信元 SDG エージェントの設定

この項では、サービスピアロールのレイヤ 2 Catalyst スイッチとペアになっている LAN ディストリビューションスイッチから有線プリンタソースを検出できるようにするための追加の設定手順を示します。ワイヤレス ディストリビューション スイッチは、サービスピアロールの Cisco Catalyst 9800 シリーズワイヤレス コントローラ とペアになっており、有線プリンタのクエリ応答を受信すると、ワイヤレス ローカル モード ネットワーク 経由でクエリを実行しているデバイスに応答を配信します。

単方向のサービスフィルタにより、運用や管理の目的でネットワーク全体にわたってサービスを検出できます。ただし、クエリエージェントを設定しない限り、サービスを IP ネットワーク全体に配信することはできません。クエリ SDG エージェントを設定する手順については、「[従来型の LAN およびワイヤレスモードのクエリ SDG エージェントの設定 \(4 ページ\)](#)」を参照してください。

始める前に

「[従来型の LAN およびワイヤレスローカルモードのサービスフィルタの設定 \(2 ページ\)](#)」に示された手順を完了したことを確認します。

- ステップ 1** ウィンドウの右上にある [Add] をクリックします。
- ステップ 2** ラジオボタンをクリックして、送信元 SDG エージェントを選択します。デフォルトでは、送信元のラジオボタンが選択されています。
- ステップ 3** [SDG Agent/IP] ドロップダウンリストから、サービス (プリンタなど) を通知する SDG エージェント (10.0.0.1) を選択します。
- ステップ 4** [Service Layer] ドロップダウンリストから、[Peer] を選択します。
- ステップ 5** [Any] チェックボックスをオフにします。デフォルトでは、このチェックボックスはオフになっていません。

- ステップ 6** 特定のネットワークからサービス（プリンタ）を検出するには、送信元 VLAN（Vlan-A および Vlan-B）を選択します。
- ステップ 7** 選択した IPv4 サブネットからのサービスを有効または無効にします。デフォルトでは有効になっています。
- ステップ 8** 選択した IPv6 サブネットからのサービスを有効または無効にします。デフォルトでは有効になっています。
- ステップ 9** サービスピアの IPv4 アドレス（192.0.2.1）を入力します。プラスアイコンをクリックして、ピア（192.0.2.3）を追加します。選択した VLAN 上の任意のピアからのサービスを受け入れるには、[Any] を選択します。
- ステップ 10** [Location Group] で、次のいずれかを実行します。
- 任意のロケーショングループからのサービスを許可するには、チェックボックスをオンにします。
 - ロケーショングループ 0 からのサービスを許可するには、ドロップダウンリストから [Default] を選択します。
 - カスタム ロケーショングループ ID を使用するには、ドロップダウンリストから [Custom] を選択し、ロケーショングループ ID を入力します。有効な範囲は 1 ~ 4096 です。
- ステップ 11** （オプション）送信元 SDG エージェントをさらに追加するには、[Add Next] をクリックします。（前の手順を繰り返します。）
- ステップ 12** [DONE] をクリックします。
- ステップ 13** [CREATE] をクリックします。
-

従来型の LAN およびワイヤレスモードのクエリ SDG エージェントの設定

この項では、ポリシーに基づいてクエリ SDG エージェントにサービスを配信するための追加の設定手順を紹介します。

送信元 SDG エージェントを設定する手順については、「[従来型の LAN およびワイヤレスモードの送信元 SDG エージェントの設定（3 ページ）](#)」を参照してください。

始める前に

「[従来型の LAN およびワイヤレスローカルモードのサービスフィルタの設定（2 ページ）](#)」に示された手順を完了したことを確認します。

- ステップ 1** ウィンドウの右上にある [Add] をクリックします。
- ステップ 2** ラジオボタンをクリックして、クエリ SDG エージェントを選択します。デフォルトでは、送信元のラジオボタンが選択されています。
- ステップ 3** [SDG Agent/IP] ドロップダウンリストから、サービス（プリンタ）のクエリを受信する SDG エージェント（10.0.0.2）を選択します。
- ステップ 4** [Service Layer] ドロップダウンリストから、[Peer] を選択します。

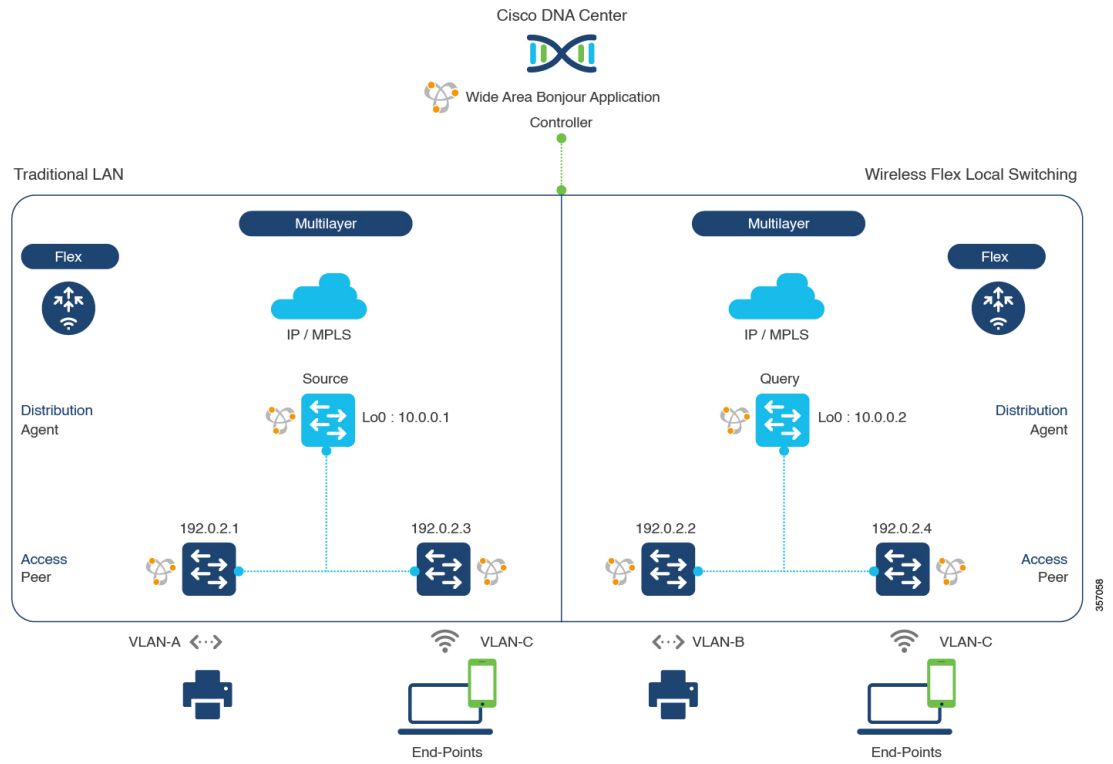
- ステップ 5** [Any] チェックボックスがオフになっていることを確認します。デフォルトでは有効になっています。
- ステップ 6** 特定のネットワークにサービス（プリンタ）を配信するには、クエリ VLAN（Vlan-C）を選択します。
- ステップ 7** 選択したクエリ IPv4 サブネットからのサービスを有効または無効にします。デフォルトでは有効になっています。
- ステップ 8** 選択したクエリ IPv6 サブネットからのサービスを有効または無効にします。デフォルトでは有効になっています。
- ステップ 9** サービスピアの IPv4 アドレス（192.0.2.2）を入力します。
- ステップ 10** [Location Group] で、次のいずれかを実行します。
- 任意のロケーショングループからのサービスを許可するには、チェックボックスをオンにします。
 - ロケーショングループ 0 からのサービスを許可するには、ドロップダウンリストから [Default] を選択します。
 - カスタム ロケーショングループ ID を使用するには、ドロップダウンリストから [Custom] を選択し、ロケーショングループ ID を入力します。有効な範囲は 1 ~ 4096 です。
- ステップ 11** プラスアイコンをクリックして、サービスピア（192.0.2.4）を追加します。選択した VLAN 上の任意のピアからのサービスを受け入れるには、[Any] を選択します。
- ステップ 12** （オプション）クエリエージェントをさらに追加するには、[Add Next] をクリックします。（前の手順を繰り返します。）
- ステップ 13** [DONE] をクリックします。
- ステップ 14** [CREATE] をクリックします。

従来型の LAN およびワイヤレス FlexConnect ローカル スイッチングモード

この項では、従来型の LAN で Wide Area Bonjour を有効にし、FlexConnect ローカルスイッチングモードのシスコ ワイヤレス アクセス ポイントを使用してワイヤレスネットワーク経由でローカルまたはリモート接続したワイヤレスユーザーに対して、Bonjour サービス（有線プリンタなど）を提供するためのグローバル設定ポリシーのガイドラインを詳しく紹介します。

次の図は、従来型の LAN とワイヤレス FlexConnect ローカル スイッチング モード ネットワークの参照用ネットワークトポロジを示しています。IP ネットワーク全体に Bonjour の送信側と受信側の SDG エージェントがあります。

図 2: 従来型の LAN およびワイヤレス FlexConnect ローカルスイッチング ネットワークのサービスルーティング



(注) ローカルスイッチングモードの FlexConnect アクセスポイントを使用した Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラ では、mDNS の設定は必要ありません。

Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラ の設定時の注意事項については、『[Cisco Catalyst 9800 Series Wireless Controller Software Configuration Guide](#)、[Cisco IOS XE Amsterdam 17.3.x](#)』を参照してください。

従来型の LAN およびワイヤレス FlexConnect ローカルスイッチングモードのサービスフィルタの設定

この項では、グローバルサービスフィルタを導入するための一般的な手順を紹介します。このフィルタにより、Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションは IP ネットワーク全体の信頼できる Cisco Catalyst SDG エージェントスイッチ間でサービス情報を動的に検出して配信できます。

- ステップ 1 Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションの [Configuration] タブに移動します。
- ステップ 2 サイドバーから、サービスフィルタを作成するサブドメインを選択します。
- ステップ 3 [Service Filter] ボックスがオンになっていることを確認します。

- ステップ 4** トポロジからサービスフィルタアイコンをクリックして、選択したドメインのサービスフィルタのリストを表示します。
- このリストから既存のサービスフィルタを手動で編集することもできます。
- ステップ 5** [Create Service Filter] をクリックします。
- ステップ 6** [Network Mode] ドロップダウンリストから、[Traditional] (デフォルトモード) を選択します。
- ステップ 7** サービスフィルタの一意の名前を入力します。
- ステップ 8** (オプション) サービスフィルタの説明を入力します。
- ステップ 9** アナウンスとクエリを許可する 1 つ以上のサービスタイプを選択します。
- ステップ 10** サービスフィルタを作成後、有効または無効にします。デフォルトでは有効になります。

従来型の LAN およびワイヤレス FlexConnect ローカルスイッチングモードの送信元 SDG エージェントの設定

この項では、サービスピアロールのレイヤ 2 Catalyst スイッチとペアになっている LAN ディストリビューションのブロック 1 スイッチから有線プリンタソースを検出できるようにするための一般的な設定手順を示します。LAN ディストリビューションブロック 2 スイッチは、サービスピアロールで別の Catalyst スイッチのペアと一組になっています。

単方向のサービスフィルタにより、運用や管理の目的でネットワーク全体にわたってサービスを検出できます。ただし、クエリエージェントを設定しない限り、サービスを IP ネットワーク全体に配信することはできません。クエリ SDG エージェントを設定する手順については、「[従来型の LAN およびワイヤレス FlexConnect ローカルスイッチングモードのクエリ SDG エージェントの設定 \(8 ページ\)](#)」を参照してください。

始める前に

「[従来型の LAN およびワイヤレス FlexConnect ローカルスイッチングモードのサービスフィルタの設定 \(6 ページ\)](#)」に示された手順を完了したことを確認します。

- ステップ 1** ウィンドウの右上にある [Add] をクリックします。
- ステップ 2** ラジオボタンをクリックして、送信元 SDG エージェントを選択します。デフォルトでは、送信元のラジオボタンが選択されています。
- ステップ 3** [SDG Agent/IP] ドロップダウンリストから、サービス (プリンタ) を通知する SDG エージェント (10.0.0.1) を選択します。
- ステップ 4** [Service Layer] ドロップダウンリストから、[Peer] を選択します。
- ステップ 5** [Any] チェックボックスをオフにします。デフォルトでは、このチェックボックスはオフになっています。
- ステップ 6** 特定のネットワークからサービス (プリンタ) を検出するには、送信元 VLAN (Vlan-A) を選択します。

- ステップ 7** 選択した IPv4 サブネットからのサービスを有効または無効にします。デフォルトでは有効になっています。
- ステップ 8** 選択した IPv6 サブネットからのサービスを有効または無効にします。デフォルトでは有効になっています。
- ステップ 9** サービスピアの IPv4 アドレス (192.0.2.1) を入力します。プラスアイコンをクリックして、ピア (192.0.2.3) を追加します。選択した VLAN 上の任意のピアからのサービスを受け入れるには、[Any] を選択します。
- ステップ 10** [Location Group] で、次のいずれかを実行します。
- 任意のロケーショングループからのサービスを許可するには、チェックボックスをオンにします。
 - ロケーショングループ 0 からのサービスを許可するには、ドロップダウンリストから [Default] を選択します。
 - カスタム ロケーショングループ ID を使用するには、ドロップダウンリストから [Custom] を選択し、ロケーショングループ ID を入力します。有効な範囲は 1 ~ 4096 です。
- ステップ 11** (オプション) 送信元 SDG エージェントをさらに追加するには、[Add Next] をクリックします。(前の手順を繰り返します。)
- ステップ 12** [DONE] をクリックします。
- ステップ 13** [CREATE] をクリックします。

従来型の LAN およびワイヤレス FlexConnect ローカルスイッチングモードのクエリ SDG エージェントの設定

この項では、ポリシーに基づいてクエリ SDG エージェントにサービスを配信するための追加の設定手順を紹介します。

送信元 SDG エージェントを設定する手順については、「[従来型の LAN およびワイヤレス FlexConnect ローカルスイッチングモードの送信元 SDG エージェントの設定 \(7 ページ\)](#)」を参照してください。

始める前に

「[従来型の LAN およびワイヤレス FlexConnect ローカルスイッチングモードのサービスフィルタの設定 \(6 ページ\)](#)」に示された手順を完了したことを確認します。

- ステップ 1** ウィンドウの右上にある [Add] をクリックします。
- ステップ 2** ラジオボタンをクリックして、クエリ SDG エージェントを選択します。デフォルトでは、送信元のラジオボタンが選択されています。
- ステップ 3** [SDG Agent/IP] ドロップダウンリストから、サービス (プリンタ) のクエリを受信する SDG エージェント (10.0.0.2) を選択します。
- ステップ 4** [Service Layer] ドロップダウンリストから、[Peer] を選択します。
- ステップ 5** [Any] チェックボックスがオフになっていることを確認します。デフォルトでは有効になっています。

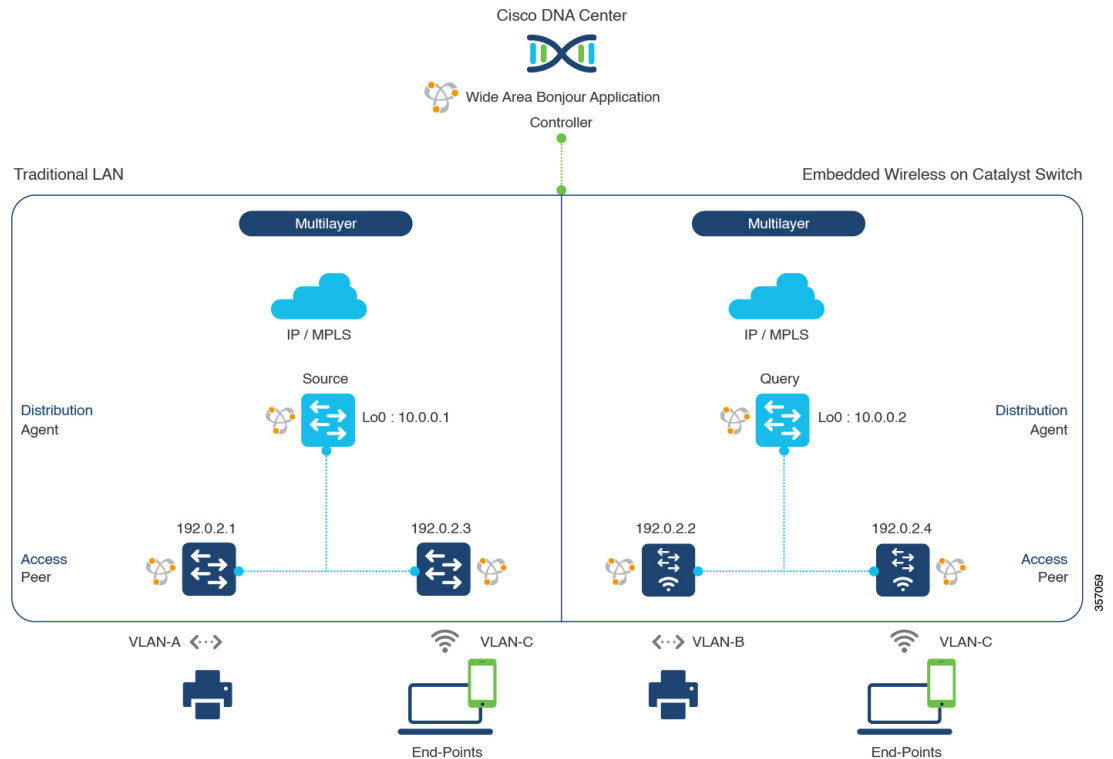
- ステップ 6** 特定のネットワークにサービス (プリンタ) を配信するには、クエリ VLAN (Vlan-C) を選択します。
- ステップ 7** 選択したクエリ IPv4 サブネットからのサービスを有効または無効にします。デフォルトでは有効になっています。
- ステップ 8** 選択したクエリ IPv6 サブネットからのサービスを有効または無効にします。デフォルトでは有効になっています。
- ステップ 9** サービスピアの IPv4 アドレス (192.0.2.2) を入力します。
- ステップ 10** [Location Group] で、次のいずれかを実行します。
- 任意のロケーショングループからのサービスを許可するには、チェックボックスをオンにします。
 - ロケーショングループ 0 からのサービスを許可するには、ドロップダウンリストから [Default] を選択します。
 - カスタム ロケーショングループ ID を使用するには、ドロップダウンリストから [Custom] を選択し、ロケーショングループ ID を入力します。有効な範囲は 1 ~ 4096 です。
- ステップ 11** プラスアイコンをクリックして、サービスピア (192.0.2.4) を追加します。選択した VLAN 上の任意のピアからのサービスを受け入れるには、[Any] を選択します。
- ステップ 12** (オプション) クエリエージェントをさらに追加するには、[Add Next] をクリックします。(前の手順を繰り返します。)
- ステップ 13** [DONE] をクリックします。
- ステップ 14** [CREATE] をクリックします。

従来型の LAN および組み込みワイヤレスコントローラ (Catalyst スイッチ)

この項では、組み込みワイヤレスコントローラ (EWC) 機能を備えた Cisco Catalyst 9300 シリーズスイッチ間で Cisco Wide Area Bonjour を有効にするためのグローバル設定ポリシーのガイドラインを詳しく紹介します。ローカルまたはリモート接続したワイヤレスユーザーに有線プリンタなどの Bonjour サービスを提供する従来の LAN は、ワイヤレスネットワークをローカルモードのシスコワイヤレスアクセスポイントに接続していました。

次の図は、従来型の LAN とワイヤレス ローカルモードネットワークの参照用ネットワークトポロジを示しています。IP ネットワーク全体に Bonjour の送信側と受信側デバイスがありません。

図 3: スイッチ サービス ルーティングでの従来型 LAN および EWC



Cisco Catalyst 9300 シリーズ スイッチ の設定時の注意事項については、『[Software Configuration Guide, Cisco IOS XE Amsterdam 17.3.x \(Catalyst 9300 Switches\)](#)』を参照してください。

従来型の LAN および組み込みワイヤレスコントローラのサービスフィルタの設定 (Catalyst スイッチ)

この項では、グローバルサービスフィルタを導入するための一般的な手順を紹介します。このフィルタにより、Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションは IP ネットワーク全体の信頼できる Cisco Catalyst SDG エージェントスイッチ間でサービス情報を動的に検出して配信できます。

- ステップ 1 Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションの [Configuration] タブに移動します。
- ステップ 2 サイドバーから、サービスフィルタを作成するサブドメインを選択します。
- ステップ 3 [Service Filter] ボックスがオンになっていることを確認します。
- ステップ 4 トポロジからサービスフィルタアイコンをクリックして、選択したドメインのサービスフィルタのリストを表示します。
このリストから既存のサービスフィルタを手動で編集することもできます。
- ステップ 5 [Create Service Filter] をクリックします。
- ステップ 6 [Network Mode] ドロップダウンリストから、[Traditional] (デフォルトモード) を選択します。

- ステップ7** サービスフィルタの一意の名前を入力します。
- ステップ8** (オプション) サービスフィルタの説明を入力します。
- ステップ9** アナウンスとクエリを許可する 1 つ以上のサービスタイプを選択します。
- ステップ10** サービスフィルタを作成後、有効または無効にします。デフォルトでは有効になります。

従来型の LAN および組み込みワイヤレスコントローラの送信元 SDG エージェントの設定 (Catalyst スイッチ)

この項では、サービスピアロールのレイヤ2 Catalyst スイッチとペアになっている LAN ディストリビューションブロック1スイッチから有線プリンタソースを検出できるようにするための追加の設定手順を示します。LAN ディストリビューションブロック2スイッチは、サービスピアロールで別の Catalyst スイッチのペアと一組になっています。

単方向のサービスフィルタにより、運用や管理の目的でネットワーク全体にわたってサービスを検出できます。ただし、クエリエージェントを構成しない限り、サービスを IP ネットワーク全体に配信することはできません。クエリ SDG エージェントを設定する手順については、「[従来型の LAN および組み込みワイヤレスコントローラのクエリ SDG エージェントの設定 \(Catalyst スイッチ\) \(12 ページ\)](#)」を参照してください。

始める前に

「[従来型の LAN および組み込みワイヤレスコントローラのサービスフィルタの設定 \(Catalyst スイッチ\) \(10 ページ\)](#)」に示された手順を完了したことを確認します。

- ステップ1** ウィンドウの右上にある [Add] をクリックします。
- ステップ2** ラジオボタンをクリックして、送信元 SDG エージェントを選択します。デフォルトでは、このボックスはオフになっています。
- ステップ3** [SDG Agent/IP] ドロップダウンリストから、サービス (プリンタ) をアナウンスする SDG エージェント (10.0.0.1) を選択します。
- ステップ4** [Service Layer] ドロップダウンリストから、[Peer] を選択します。
- ステップ5** [Any] チェックボックスをオフにします。デフォルトでは、このチェックボックスはオフになっています。
- ステップ6** 特定のネットワークからサービス (プリンタ) を検出するには、送信元 VLAN (Vlan-A) を選択します。
- ステップ7** 選択した送信元 IPv4 サブネットからのサービスを有効または無効にします。デフォルトでは有効になっています。
- ステップ8** 選択した送信元 IPv6 サブネットからのサービスを有効または無効にします。デフォルトでは有効になっています。
- ステップ9** サービスピアの IPv4 アドレス (192.0.2.1) を入力します。プラスアイコンをクリックして、ピア (192.0.2.3) を追加します。選択した VLAN 上の任意のピアからのサービスを受け入れるには、[Any] を選択します。

ステップ 10 [Location Group] で、次のいずれかを実行します。

- 任意のロケーショングループからのサービスを許可するには、チェックボックスをオンにします。
- ロケーショングループ 0 からのサービスを許可するには、ドロップダウンリストから [Default] を選択します。
- カスタム ロケーション グループ ID を使用するには、ドロップダウンリストから [Custom] を選択し、ロケーショングループ ID を入力します。有効な範囲は 1 ~ 4096 です。

ステップ 11 (オプション) 送信元 SDG エージェントをさらに追加するには、[Add Next] をクリックします。(前の手順を繰り返します。)

ステップ 12 [DONE] をクリックします。

ステップ 13 [CREATE] をクリックします。

従来型の LAN および組み込みワイヤレスコントローラのクエリ SDG エージェントの設定 (Catalyst スイッチ)

この項では、ポリシーに基づいてクエリ SDG エージェントにサービスを配信するための追加の設定手順を紹介します。

送信元 SDG エージェントを設定する手順については、「[従来型の LAN および組み込みワイヤレスコントローラの送信元 SDG エージェントの設定 \(Catalyst スイッチ\) \(11 ページ\)](#)」を参照してください。

始める前に

「[従来型の LAN および組み込みワイヤレスコントローラのサービスフィルタの設定 \(Catalyst スイッチ\) \(10 ページ\)](#)」に示された手順を完了したことを確認します。

ステップ 1 ウィンドウの右上にある [Add] をクリックします。

ステップ 2 ラジオボタンをクリックして、クエリ SDG エージェントを選択します。デフォルトでは、送信元のラジオボタンが選択されています。

ステップ 3 [SDG Agent/IP] ドロップダウンリストから、サービスタイプ (プリンタ) のクエリを受信する SDG エージェント (10.0.0.2) を選択します。

ステップ 4 [Service Layer] ドロップダウンリストから、[Peer] を選択します。

ステップ 5 [Any] チェックボックスがオフになっていることを確認します。デフォルトでは、このチェックボックスはオフになっています。

ステップ 6 特定のネットワークにサービス (プリンタ) を配信するには、クエリ VLAN (Vlan-C) を選択します。

ステップ 7 選択したクエリ IPv4 サブネットからのサービスを有効または無効にします。デフォルトでは有効になっています。

ステップ 8 選択したクエリ IPv6 サブネットからのサービスを有効または無効にします。デフォルトでは有効になっています。

- ステップ 9** サービスピアの IPv4 アドレス (192.0.2.2) を入力します。
- ステップ 10** プラスアイコンをクリックして、サービスピア (192.0.2.4) を追加します。選択した VLAN 上の任意のピアからのサービスを受け入れるには、[Any] を選択します。
- ステップ 11** [Location Group] で、次のいずれかを実行します。
- 任意のロケーショングループからのサービスを許可するには、チェックボックスをオンにします。
 - ロケーショングループ 0 からのサービスを許可するには、ドロップダウンリストから [Default] を選択します。
 - カスタム ロケーション グループ ID を使用するには、ドロップダウンリストから [Custom] を選択し、ロケーショングループ ID を入力します。有効な範囲は 1 ~ 4096 です。
- ステップ 12** (オプション) クエリエージェントをさらに追加するには、[Add Next] をクリックします。(前の手順を繰り返します。)
- ステップ 13** [DONE] をクリックします。
- ステップ 14** [CREATE] をクリックします。

次のタスク

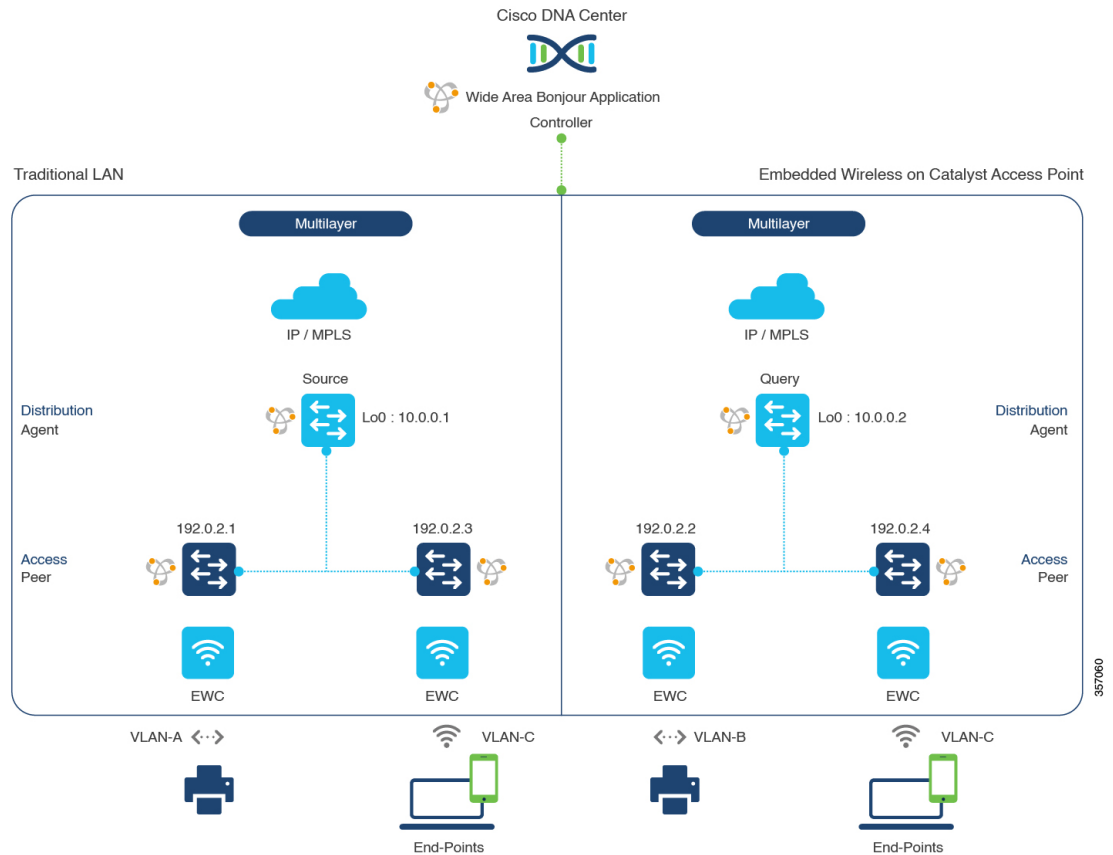
送信元の 10.0.0.2 およびピア 192.0.2.2 からのプリンタサービスの検出を許可する新しいリバー
スサービスフィルタ構成を作成し、リモートクエリを実行する SDG エージェント 10.0.0.1、お
よびピア 192.0.2.3 に接続されたワイヤレスユーザーにサービスを配信します。

従来型の LAN および組み込みワイヤレスコントローラ (Catalyst アクセスポイント)

この項では、従来の LAN ネットワーク上のデバイス間で Wide Area Bonjour を有効にし、ローカルまたはリモート接続した有線ユーザーやワイヤレスユーザーに対して Bonjour サービス (有線プリンタなど) を提供するためのグローバル設定ポリシーのガイドラインを詳しく紹介します。Catalyst スイッチの Bonjour ゲートウェイは、Catalyst アクセスポイントで組み込みワイヤレスコントローラ (EWC) 機能を使用して、コントローラ不要のワイヤレスネットワークをサポートします。

次の図は、従来型の LAN と EWC Catalyst アクセスポイントの参照用ネットワークトポロジを示しています。IP ネットワーク全体に Bonjour の送信側と受信側デバイスがあります。

図 4: 従来型の LAN と EWC : Catalyst アクセスポイントのネットワーク サービスルーティング



(注) Mobility Express モードの旧アクセスポイントの場合、この項に記載されている設定手順に従います。

Cisco Catalyst アクセスポイントシリーズの EWC 設定時の注意事項については、『[Cisco Embedded Wireless Controller on Cisco Catalyst Access Points](#)』を参照してください。

従来型の LAN および組み込みワイヤレスコントローラのサービスフィルタの設定 (Catalyst アクセスポイント)

この項では、グローバルサービスフィルタを導入するための一般的な手順を紹介します。このフィルタにより、Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションは IP ネットワーク全体の信頼できる Cisco Catalyst SDG エージェントスイッチ間でサービス情報を動的に検出して配信できます。

ステップ 1 Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションの [Configuration] タブに移動します。

ステップ 2 サイドバーから、サービスフィルタを作成するサブドメインを選択します。

- ステップ 3** [Service Filter] ボックスがオンになっていることを確認します。
- ステップ 4** トポロジからサービスフィルタアイコンをクリックして、選択したドメインのサービスフィルタのリストを表示します。
- このリストから既存のサービスフィルタを手動で編集することもできます。
- ステップ 5** [Create Service Filter] をクリックします。
- ステップ 6** [Network Mode] ドロップダウンリストから、[Traditional] (デフォルトモード) を選択します。
- ステップ 7** サービスフィルタの一意の名前を入力します。
- ステップ 8** (オプション) サービスフィルタの説明を入力します。
- ステップ 9** アナウンスとクエリを許可する 1 つ以上のサービスタイプを選択します。
- ステップ 10** サービスフィルタを作成後、有効または無効にします。デフォルトでは有効になります。

従来型の LAN および組み込みワイヤレスコントローラの送信元 SDG エージェントの設定 (Catalyst アクセスポイント)

この項では、サービスピアロールのレイヤ 2 Cisco Catalyst スイッチとペアになっている LAN ディストリビューションスイッチから有線プリンタソースを検出するために必要な追加の設定手順のガイドラインを紹介します。EWC : Catalyst アクセスポイントは、ワイヤレスネットワーク経由で参照されると、ローカルおよびリモートの有線プリンタに関するクエリ応答を受信できます。

単方向のサービスフィルタにより、運用や管理の目的でネットワーク全体にわたってサービスを検出できます。ただし、クエリエージェントを設定しない限り、サービスを IP ネットワーク全体に配信することはできません。クエリ SDG エージェントを設定する手順については、「[従来型の LAN および組み込みワイヤレスコントローラのクエリ SDG エージェントの設定 \(Catalyst アクセスポイント\) \(16 ページ\)](#)」を参照してください。

始める前に

「[従来型の LAN および組み込みワイヤレスコントローラのサービスフィルタの設定 \(Catalyst アクセスポイント\) \(14 ページ\)](#)」に示された手順を完了したことを確認します。

- ステップ 1** ウィンドウの右上にある [Add] をクリックします。
- ステップ 2** ラジオボタンをクリックして、送信元 SDG エージェントを選択します。デフォルトでは、送信元のラジオボタンが選択されています。
- ステップ 3** [SDG Agent/IP] ドロップダウンリストから、サービス (プリンタ) をアナウンスする SDG エージェント (10.0.0.1) を選択します。
- ステップ 4** [Service Layer] ドロップダウンリストから、[Peer] を選択します。
- ステップ 5** [Any] チェックボックスをオフにします。デフォルトでは、このチェックボックスはオフになっています。

- ステップ 6** 特定のネットワークからサービス（プリンタ）を検出するには、送信元 VLAN (Vlan-A) を選択します。
- ステップ 7** 選択した IPv4 サブネットからのサービスを有効または無効にします。デフォルトでは有効になっています。
- ステップ 8** 選択した IPv6 サブネットからのサービスを有効または無効にします。デフォルトでは有効になっています。
- ステップ 9** サービスピアの IPv4 アドレス (192.0.2.1) を入力します。
- ステップ 10** プラスアイコンをクリックして、ピア (192.0.2.3) を追加します。選択した VLAN 上の任意のピアからのサービスを受け入れるには、[Any] を選択します。
- ステップ 11** [Location Group] で、次のいずれかを実行します。
- 任意のロケーショングループからのサービスを許可するには、チェックボックスをオンにします。
 - ロケーショングループ 0 からのサービスを許可するには、ドロップダウンリストから [Default] を選択します。
 - カスタム ロケーショングループ ID を使用するには、ドロップダウンリストから [Custom] を選択し、ロケーショングループ ID を入力します。有効な範囲は 1 ~ 4096 です。
- ステップ 12** (オプション) 送信元 SDG エージェントをさらに追加するには、[Add Next] をクリックします。(前の手順を繰り返します。)
- ステップ 13** [DONE] をクリックします。
- ステップ 14** [CREATE] をクリックします。

従来型の LAN および組み込みワイヤレスコントローラのクエリ SDG エージェントの設定 (Catalyst アクセスポイント)

この項では、ポリシーに基づいてクエリ SDG エージェントにサービスを配信するための追加の設定手順を紹介します。

送信元 SDG エージェントを設定する手順については、「[従来型の LAN および組み込みワイヤレスコントローラの送信元 SDG エージェントの設定 \(Catalyst アクセスポイント\)](#) (15 ページ)」を参照してください。

始める前に

「[従来型の LAN および組み込みワイヤレスコントローラのサービスフィルタの設定 \(Catalyst アクセスポイント\)](#) (14 ページ)」に示された手順を完了したことを確認します。

-
- ステップ 1** ウィンドウの右上にある [Add] をクリックします。
- ステップ 2** ラジオボタンをクリックして、クエリ SDG エージェントを選択します。デフォルトでは、送信元のラジオボタンが選択されています。
- ステップ 3** [SDG Agent/IP] ドロップダウンリストから、サービスタイプ（プリンタ）のクエリを受信する SDG エージェント (10.0.0.2) を選択します。

- ステップ 4** [Service Layer] ドロップダウンリストから、[Peer] を選択します。
- ステップ 5** [Any] チェックボックスがオフになっていることを確認します。デフォルトでは、このチェックボックスはオフになっています。
- ステップ 6** 特定のネットワークにサービス（プリンタ）を配信するには、クエリ VLAN（Vlan-C）を選択します。
- ステップ 7** 選択したクエリ IPv4 サブネットからのサービスを有効または無効にします。デフォルトでは有効になっています。
- ステップ 8** 選択したクエリ IPv6 サブネットからのサービスを有効または無効にします。デフォルトでは有効になっています。
- ステップ 9** サービスピアの IPv4 アドレス（192.0.2.2）を入力します。
- ステップ 10** プラスアイコンをクリックして、サービスピア（192.0.2.4）を追加します。選択した VLAN 上の任意のピアからのサービスを受け入れるには、[Any] を選択します。
- ステップ 11** [Location Group] で、次のいずれかを実行します。
- 任意のロケーショングループからのサービスを許可するには、チェックボックスをオンにします。
 - ロケーショングループ 0 からのサービスを許可するには、ドロップダウンリストから [Default] を選択します。
 - カスタム ロケーショングループ ID を使用するには、ドロップダウンリストから [Custom] を選択し、ロケーショングループ ID を入力します。有効な範囲は 1 ～ 4096 です。
- ステップ 12** （オプション）クエリエージェントをさらに追加するには、[Add Next] をクリックします。（前の手順を繰り返します。）
- ステップ 13** [DONE] をクリックします。
- ステップ 14** [CREATE] をクリックします。

次のタスク

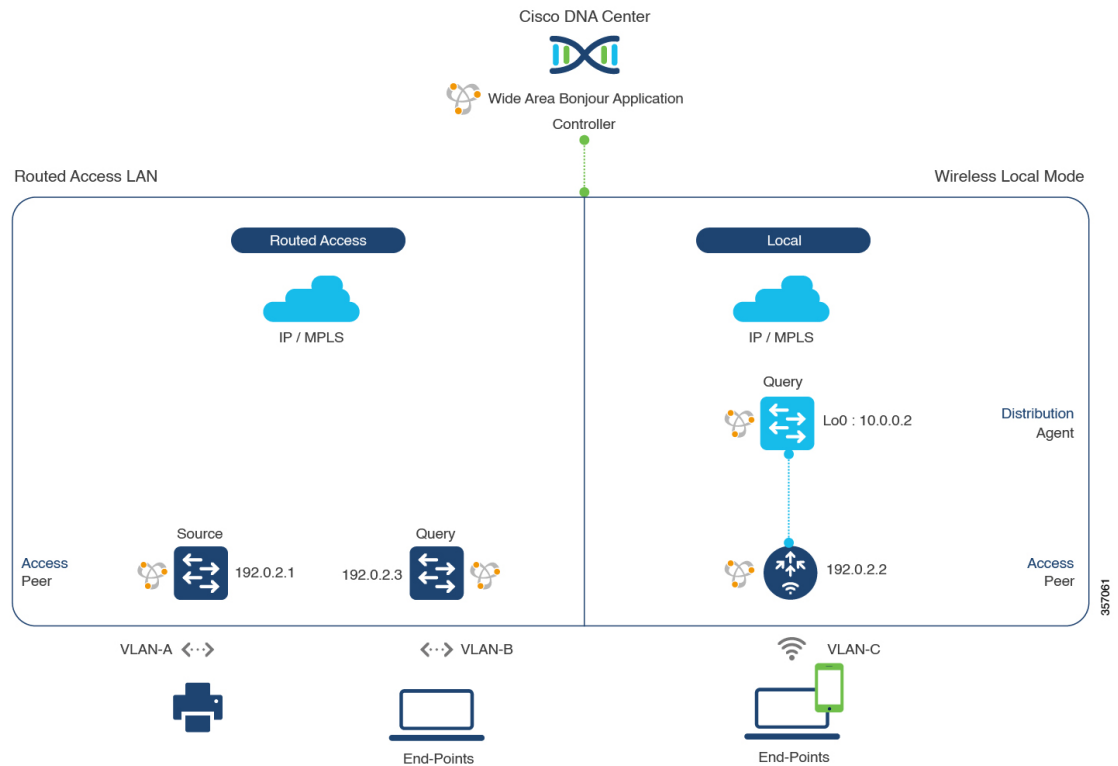
送信元の 10.0.0.2 およびピア 192.0.2.2 からのプリンタサービスの検出を許可する新しいリバーシブルサービスフィルタ構成を作成し、リモートクエリを実行する SDG エージェント 10.0.0.1、およびピア 192.0.2.3 に接続されたワイヤレスユーザーにサービスを配信できます。

従来型のルーテッドアクセス LAN およびワイヤレスローカルモード

この項では、ルーテッドアクセス LAN ネットワーク上のデバイス間で Wide Area Bonjour を有効にし、リモート接続した有線ユーザーやローカルモードのシスコ ワイヤレス アクセス ポイントを備えたワイヤレスネットワーク経由で接続したワイヤレスユーザーに対して Bonjour サービス（有線プリンタなど）を提供するためのグローバル設定ポリシーのガイドラインを詳しく紹介します。

次の図は、ルーテッドアクセス LAN およびワイヤレス ローカル モード ネットワークの参照用ネットワークトポロジを示しています。IP ネットワーク全体に Bonjour の送信側と受信側デバイスがあります。

図 5: ルーテッドアクセス LAN およびワイヤレス ローカル モード ネットワークのサービスルーティング



(注) Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラ で FlexConnect 中央スイッチングモードのアクセスポイントが使用される場合、この項に記載された設定手順に従います。

Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラ の設定時の注意事項については、『[Cisco Catalyst 9800 Series Wireless Controller Software Configuration Guide](#)、[Cisco IOS XE Amsterdam 17.3.x](#)』を参照してください。

従来型のルーテッドアクセス LAN およびワイヤレスローカルモードのサービスフィルタの設定

この項では、グローバルサービスフィルタを導入するための一般的な手順を紹介します。このフィルタにより、Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションは IP ネットワーク全体の信頼できる Cisco Catalyst SDG エージェントスイッチ間でサービス情報を動的に検出して配信できます。

-
- ステップ 1 Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションの [Configuration] タブに移動します。
 - ステップ 2 サイドバーから、サービスフィルタを作成するサブドメインを選択します。
 - ステップ 3 [Service Filter] ボックスがオンになっていることを確認します。
 - ステップ 4 トポロジからサービスフィルタアイコンをクリックして、選択したドメインのサービスフィルタのリストを表示します。
このリストから既存のサービスフィルタを手動で編集することもできます。
 - ステップ 5 [Create Service Filter] をクリックします。
 - ステップ 6 [Network Mode] ドロップダウンリストから、[Traditional] (デフォルトモード) を選択します。
 - ステップ 7 サービスフィルタの一意の名前を入力します。
 - ステップ 8 (オプション) サービスフィルタの説明を入力します。
 - ステップ 9 アナウンスとクエリを許可する 1 つ以上のサービスタイプを選択します。
 - ステップ 10 サービスフィルタを作成後、有効または無効にします。デフォルトでは有効になります。
-

従来型のルーテッドアクセス LAN およびワイヤレスローカルモードの送信元 SDG エージェントの設定

この項では、SDG エージェントロールの LAN スイッチ 1 から有線プリンタソースを検出できるようにするための追加の設定手順について説明します。有線プリンタは、LAN スイッチ 2 からリモート接続した有線ユーザーや、サービスピアロールの Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラとペアになっている WLAN ディストリビューションブロック 2 スイッチからワイヤレスユーザーに検出されます。

単方向のサービスフィルタにより、運用や管理の目的でネットワーク全体にわたってサービスを検出できます。ただし、クエリ SDG エージェントを設定しない限り、サービスを IP ネットワーク全体に配信することはできません。クエリ SDG エージェントを設定する手順については、「[従来型のルーテッドアクセス LAN およびワイヤレスローカルモードのクエリ SDG エージェントの設定 \(20 ページ\)](#)」を参照してください。

始める前に

「[従来型のルーテッドアクセス LAN およびワイヤレスローカルモードのサービスフィルタの設定 \(18 ページ\)](#)」に示された手順を完了したことを確認します。

-
- ステップ 1 ウィンドウの右上にある [Add] をクリックします。
 - ステップ 2 ラジオボタンをクリックして、送信元 SDG エージェントを選択します。デフォルトでは、送信元のラジオボタンが選択されています。
 - ステップ 3 [SDG Agent/IP] ドロップダウンリストから、サービス (プリンタ) をアナウンスする SDG エージェント (10.0.0.1) を選択します。

- ステップ 4** [Service Layer] ドロップダウンリストから、[Local] を選択します。
- ステップ 5** [Any] チェックボックスをオフにします。デフォルトでは、このチェックボックスはオフになっています。
- ステップ 6** 特定のネットワークからサービス（プリンタ）を検出するには、送信元 VLAN（Vlan-A）を選択します。
- ステップ 7** 選択した送信元 IPv4 サブネットからのサービスを有効または無効にします。デフォルトでは有効になっています。
- ステップ 8** 選択した送信元 IPv6 サブネットからのサービスを有効または無効にします。デフォルトでは有効になっています。
- ステップ 9** [Location Group] で、次のいずれかを実行します。
- 任意のロケーショングループからのサービスを許可するには、チェックボックスをオンにします。
 - ロケーショングループ 0 からのサービスを許可するには、ドロップダウンリストから [Default] を選択します。
 - カスタム ロケーショングループ ID を使用するには、ドロップダウンリストから [Custom] を選択し、ロケーショングループ ID を入力します。有効な範囲は 1 ~ 4096 です。
- ステップ 10** （オプション）送信元 SDG エージェントをさらに追加するには、[Add Next] をクリックします。（前の手順を繰り返します。）
- ステップ 11** [DONE] をクリックします。
- ステップ 12** [CREATE] をクリックします。

従来型のルーテッドアクセス LAN およびワイヤレスローカルモードのクエリ SDG エージェントの設定

この項では、ポリシーに基づいてクエリ SDG エージェントにサービスを配信するための追加の設定手順を紹介します。

送信元 SDG エージェントを設定する手順については、「[従来型のルーテッドアクセス LAN およびワイヤレスローカルモードの送信元 SDG エージェントの設定（19 ページ）](#)」を参照してください。

始める前に

「[従来型のルーテッドアクセス LAN およびワイヤレスローカルモードのサービスフィルタの設定（18 ページ）](#)」に示された手順を完了したことを確認します。

-
- ステップ 1** ウィンドウの右上にある [Add] をクリックします。
- ステップ 2** ラジオボタンをクリックして、クエリ SDG エージェントを選択します。デフォルトでは、送信元のラジオボタンが選択されています。
- ステップ 3** [SDG Agent/IP] ドロップダウンリストから、サービス（プリンタ）のクエリを受信する SDG エージェント（192.0.2.3）を選択します。

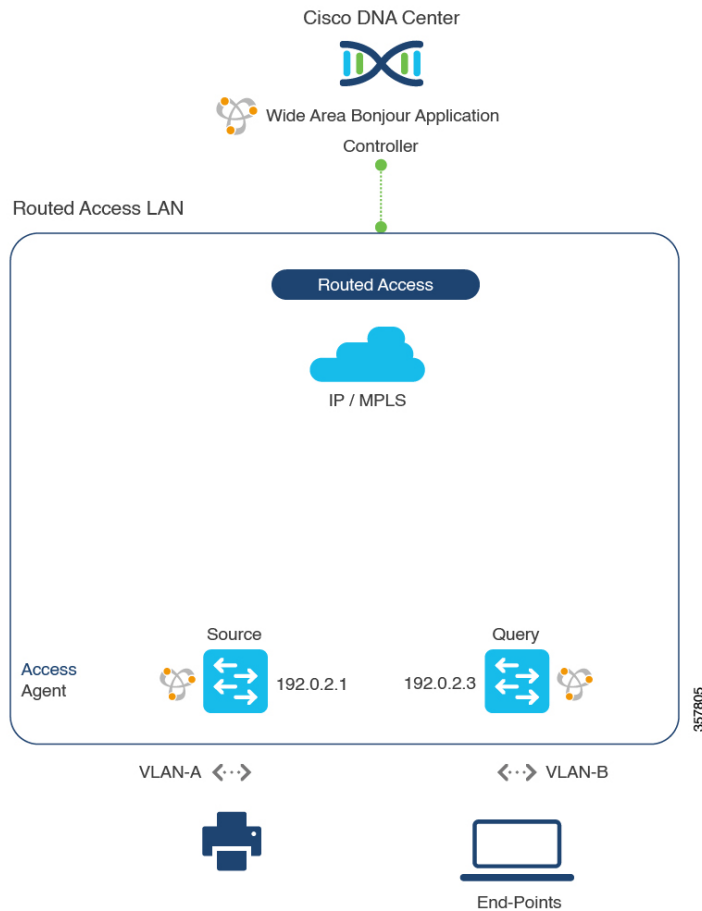
- ステップ 4** [Service Layer] ドロップダウンリストから、[Local] を選択します。
- ステップ 5** [Any] チェックボックスがオフになっていることを確認します。デフォルトでは有効になっています。
- ステップ 6** 特定のネットワークにサービス（プリンタ）を配信するには、クエリ VLAN（Vlan-B）を選択します。
- ステップ 7** 選択したクエリ IPv4 サブネットからのサービスを有効または無効にします。デフォルトでは有効になっています。
- ステップ 8** 選択したクエリ IPv6 サブネットからのサービスを有効または無効にします。デフォルトでは有効になっています。
- ステップ 9** [Location Group] で、次のいずれかを実行します。
- 任意のロケーショングループからのサービスを許可するには、チェックボックスをオンにします。
 - ロケーショングループ 0 からのサービスを許可するには、ドロップダウンリストから [Default] を選択します。
 - カスタム ロケーショングループ ID を使用するには、ドロップダウンリストから [Custom] を選択し、ロケーショングループ ID を入力します。有効な範囲は 1 ～ 4096 です。
- ステップ 10** [Add New] をクリックします。
- ステップ 11** [SDG Agent/IP] ドロップダウンリストから、クエリ SDG エージェント（10.0.0.2）を選択します。
- ステップ 12** [Service Layer] ドロップダウンリストから、[Peer] を選択します。
- ステップ 13** [Any] チェックボックスがオフになっていることを確認します。デフォルトでは有効になっています。
- ステップ 14** 特定のネットワークにサービス（プリンタ）を配信するには、クエリ VLAN（Vlan-C）を選択します。
- ステップ 15** 選択したクエリ IPv4 サブネットからのサービスを有効または無効にします。デフォルトでは有効になっています。
- ステップ 16** 選択した IPv6 サブネットからのサービスを有効または無効にします。デフォルトでは有効になっています。
- ステップ 17** サービスピアの IPv4 アドレス（192.0.2.2）を入力します。
- ステップ 18** プラスアイコンをクリックして、サービスピア（192.0.2.4）を追加します。選択した VLAN 上の任意のピアからのサービスを受け入れるには、[Any] を選択します。
- ステップ 19** [Location Group] で、次のいずれかを実行します。
- 任意のロケーショングループからのサービスを許可するには、チェックボックスをオンにします。
 - ロケーショングループ 0 からのサービスを許可するには、ドロップダウンリストから [Default] を選択します。
 - カスタム ロケーショングループ ID を使用するには、ドロップダウンリストから [Custom] を選択し、ロケーショングループ ID を入力します。有効な範囲は 1 ～ 4096 です。
- ステップ 20** （オプション）クエリエージェントをさらに追加するには、[Add Next] をクリックします。（前の手順を繰り返します。）
- ステップ 21** [DONE] をクリックします。
- ステップ 22** [CREATE] をクリックします。

従来型のルーテッドアクセス LAN

ルーテッドアクセス LAN ネットワーク上のデバイス間で Wide Area Bonjour を有効にし、リモート接続した有線ユーザーやワイヤレスユーザーに対して Bonjour サービス（有線プリンタなど）を提供するためのグローバル設定ポリシーのガイドラインを詳しく紹介します。

次の図は、ルーテッドアクセス LAN ネットワークの参照用ネットワークトポロジを示しています。IP ネットワーク全体に Bonjour の送信側と受信側デバイスがあります。

図 6: 従来型のルーテッドアクセス LAN のサービスルーティング



(注) Cisco Nexus スイッチ では、この項で説明されている設定手順に従います。

Cisco Nexus スイッチ の設定ガイドラインの詳細については、『[Cisco DNA Service For Bonjour Configuration Guide, Cisco Nexus 9000 Series NX-OS, Release 10.2\(3\)F](#)』を参照してください。

従来型のルーテッドアクセス LAN のサービスフィルタの設定

この項では、グローバルサービスフィルタを導入するための一般的な手順を紹介します。このフィルタにより、Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションは IP ネットワーク全体の信頼できる SDG エージェントスイッチ間でサービス情報を動的に検出して配信できます。

-
- ステップ 1 Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションの [Configuration] タブに移動します。
 - ステップ 2 サイドバーから、サービスフィルタを作成するサブドメインを選択します。
 - ステップ 3 [Service Filter] ボックスがオンになっていることを確認します。
 - ステップ 4 トポロジからサービスフィルタアイコンをクリックして、選択したドメインのサービスフィルタのリストを表示します。
このリストから既存のサービスフィルタを手動で編集することもできます。
 - ステップ 5 [Create Service Filter] をクリックします。
 - ステップ 6 [Network Mode] ドロップダウンリストから、[Traditional] (デフォルトモード) を選択します。
 - ステップ 7 サービスフィルタの一意の名前を入力します。
 - ステップ 8 (任意) サービスフィルタの説明を入力します。
 - ステップ 9 アナウンスとクエリを許可する 1 つ以上のサービスタイプを選択します。
 - ステップ 10 サービスフィルタを作成後、有効または無効にします。デフォルトでは有効になります。
-

従来型ルーテッドアクセス LAN の送信元 SDG エージェントの設定

この項では、SDG エージェントロールの LAN スイッチ 1 から有線プリンタソースを検出できるようにするための追加の設定手順について説明します。有線プリンタは、LAN スイッチ 2 からリモート接続した有線ユーザーによって検出できます。

単方向のサービスフィルタにより、運用や管理の目的でネットワーク全体にわたってサービスを検出できます。ただし、クエリ SDG エージェントを設定しない限り、サービスを IP ネットワーク全体に配信することはできません。クエリ SDG エージェントを設定する手順については、「[従来型ルーテッドアクセス LAN のクエリ SDG エージェントの設定 \(24 ページ\)](#)」を参照してください。

始める前に

「[従来型のルーテッドアクセス LAN のサービスフィルタの設定 \(23 ページ\)](#)」に示された手順を完了したことを確認します。

-
- ステップ 1 ウィンドウの右上にある [Add] をクリックします。
 - ステップ 2 ラジオボタンをクリックして、送信元 SDG エージェントを選択します。デフォルトでは、送信元のラジオボタンが選択されています。

- ステップ 3** [SDG Agent/IP] ドロップダウンリストから、サービス（プリンタ）をアナウンスする SDG エージェント（10.0.0.1）を選択します。
- ステップ 4** [Service Layer] ドロップダウンリストから、[Local] を選択します。
- ステップ 5** [Any] チェックボックスをオフにします。デフォルトでは、このチェックボックスはオフになっています。
- ステップ 6** 特定のネットワークからサービス（プリンタ）を検出するには、送信元 VLAN（Vlan-A）を選択します。
- ステップ 7** 選択した送信元 IPv4 サブネットからのサービスを有効または無効にします。デフォルトでは有効になっています。
- ステップ 8** 選択した送信元 IPv6 サブネットからのサービスを有効または無効にします。デフォルトでは有効になっています。
- ステップ 9** [Location Group] で、次のいずれかを実行します。
- 任意のロケーショングループからのサービスを許可するには、チェックボックスをオンにします。
 - ロケーショングループ 0 からのサービスを許可するには、ドロップダウンリストから [Default] を選択します。
 - カスタム ロケーショングループ ID を使用するには、ドロップダウンリストから [Custom] を選択し、ロケーショングループ ID を入力します。有効な範囲は 1 ～ 4096 です。
- ステップ 10** （任意）送信元 SDG エージェントをさらに追加するには、[Add Next] をクリックします。（前の手順を繰り返します。）
- ステップ 11** [DONE] をクリックします。
- ステップ 12** [CREATE] をクリックします。

従来型ルーテッドアクセス LAN のクエリ SDG エージェントの設定

この項では、ポリシーに基づいてクエリ SDG エージェントにサービスを配信するための追加の設定手順を紹介します。

送信元 SDG エージェントを設定する手順については、「[従来型ルーテッドアクセス LAN の送信元 SDG エージェントの設定（23 ページ）](#)」を参照してください。

始める前に

「[従来型のルーテッドアクセス LAN のサービスフィルタの設定（23 ページ）](#)」に示された手順を完了したことを確認します。

-
- ステップ 1** ウィンドウの右上にある [Add] をクリックします。
- ステップ 2** ラジオボタンをクリックして、クエリ SDG エージェントを選択します。デフォルトでは、送信元のラジオボタンが選択されています。
- ステップ 3** [SDG Agent/IP] ドロップダウンリストから、サービス（プリンタ）のクエリを受信する SDG エージェント（192.0.2.3）を選択します。
- ステップ 4** [Service Layer] ドロップダウンリストから、[Local] を選択します。

- ステップ 5** [Any] チェックボックスがオフになっていることを確認します。デフォルトでは有効になっています。
- ステップ 6** 特定のネットワークにサービス（プリンタ）を配信するには、クエリ VLAN（Vlan-B）を選択します。
- ステップ 7** 選択したクエリ IPv4 サブネットからのサービスを有効または無効にします。デフォルトでは有効になっています。
- ステップ 8** 選択したクエリ IPv6 サブネットからのサービスを有効または無効にします。デフォルトでは有効になっています。
- ステップ 9** [Location Group] で、次のいずれかを実行します。
- 任意のロケーショングループからのサービスを許可するには、チェックボックスをオンにします。
 - ロケーショングループ 0 からのサービスを許可するには、ドロップダウンリストから [Default] を選択します。
 - カスタム ロケーショングループ ID を使用するには、ドロップダウンリストから [Custom] を選択し、ロケーショングループ ID を入力します。有効な範囲は 1 ~ 4096 です。
- ステップ 10** （任意）クエリエージェントをさらに追加するには、[Add Next] をクリックします。（前の手順を繰り返します。）
- ステップ 11** [DONE] をクリックします。
- ステップ 12** [CREATE] をクリックします。
-

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。